

コアファシリティ総合センター 教員公募

1. 職 名 講師または助教
2. 募集者名称 国立大学法人群馬大学
3. 所 属 コアファシリティ総合センター エンジニアリング分野
4. 業務内容 研 究
・主にエンジニアリング分野の共用設備（以下「共用設備」という）を活用した自身の研究や共同研究の推進
教 育
・共用設備の活用支援を通じた学部生・大学院生教育
管理運営・社会貢献
・共用設備による地域・産業界との連携推進
・共用設備に関わる研究支援人材の育成
・その他コアファシリティ総合センターの業務に関すること
5. 勤 務 地 桐生市天神町1丁目5-1 桐生キャンパス
6. 募集人数 1名
7. 採用予定日 令和8年9月1日（以降のなるべく早い時期）
8. 専門分野 大分類：環境、ナノテク・材料、自然科学一般
9. 任 期 令和12年3月31日まで
10. 応募資格 次のいずれも満たす者
(1) 博士の学位を有すること、または採用時まで取得見込みであること。もしくは同等の専門知識や経験、能力が十分にあると認められる者
(2) 特定の専門分野にとらわれず、エンジニアリング分野に設置された複数の共用設備を横断的に活用した研究展開や分析・計測手法の開発に意欲を有する者。なお、AIやデータ科学的手法の利用経験がある、もしくは今後積極的に導入していく意欲を有することが望ましい
(3) 大学・研究機関の研究者や教職員、公的機関・産業界等の関係者との円滑な調整や積極的な協業ができる高いコミュニケーション能力（日本語および英語）とチームワークスキルをもって上記の業務内容に意欲的に取り組むことができる者

11. 給 与 年俸制適用 退職手当なし
本学教職員就業規則及び年俸制適用教員給与規則に基づき、学歴・職務経験を考慮し基本給を決定
ほか通勤・住居・扶養等の諸手当及び昇給制度あり
教職員就業規則
https://www.gunma-u.ac.jp/kisoku/pdf/chap_02/sec_0220/022010.pdf
年俸制適用教員給与規則
https://www.gunma-u.ac.jp/kisoku/pdf/chap_02/sec_0220/022180.pdf
12. 就業時間 8：30～17：15を基本として、専門業務型裁量労働制を適用
(1日7時間45分働いたものとみなす)
13. 試用期間 6か月
14. 休日・休暇 土・日、祝日法に基づく休日、年末年始(12月29日～1月3日)
年次有給休暇、特別休暇等
15. 社会保険等 文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険、労災保険
16. 受動喫煙防止措置の状況 敷地内禁煙
17. 応募締切 令和8年5月22日(金) 17時(必着)
18. 提出書類 (1) 教員個人調書(本学所定様式)(別途写真をご送付ください。)
(2) 教育研究業績書(本学所定様式)
(3) これまでの科学研究費補助金等の受給状況(本学所定様式)
(4) 研究業績概要(A4判用紙2枚程度)
(5) 今後の教育および研究に対する抱負(A4判用紙2枚程度)
(6) 応募者本人の連絡先(電話番号、メールアドレス)
19. 書類送付先 〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町四丁目2番地

群馬大学研究推進部産学連携推進課コアファシリティ事務室

簡易書留にて「群馬大学コアファシリティ総合センター エンジニアリング部門・講師または助教・応募書類」と朱書きのうえ、上記宛てに郵送をお願いします。応募書類及び応募書類の電子データ(PDF)をUSBメモリに入れて、簡易書留またはそれに準ずる方法にて送付してください。

なお、提出書類等は原則として返却いたしません。

20. 選考内容 書類選考の上、合格者に対し面接、必要に応じてプレゼンテーションや模擬授業を実施。面接等実施に伴う旅費・宿泊費等の諸経費は応募者負担

21. 問い合わせ先 群馬大学研究推進部産学連携推進課コアファシリティ事務室 担当 柘植
TEL : 027-220-7543
E-mail : tsuge@gunma-u.ac.jp

22. その他

- (1) 応募書類に記載された個人情報、本選考以外の目的には使用しません。
- (2) 群馬大学は男女共同参画を推進しており、業績（研究業績、教育業績、社会的貢献等）及び人物の評価において同等と認められた場合には、積極的に女性を採用します。
なお、女性研究者等に対する支援制度については、こちらをご参照ください。
(リンク先 : https://kyodo-sankaku.gunma-u.ac.jp/support_links/)
- (3) 若手、外国人若しくは海外経験のある日本人の採用を積極的に行います。
- (4) 若手研究者（採用年度の年度末年齢 39 歳以下）、女性研究者、外国人研究者については、研究環境を整備するための支援として、着任時に、スタートアップ経費を配分します。